

## 本時のねらい

アートカードを仲間分けし、交流することで人によって作品の感じ方が様々であることに気付く。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

アートカードは通常、グループに1セットしか配付できない。そこで、ICTを使い、個人に配付することで一人ひとりがじっくりと鑑賞できることをねらいとしている。また、仲間分けする際にグループでカードを共有しながら行えるので、言葉を付け足したり、カードを操作したりしながら分類できる。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレットPC
- ・テレビ
- ・ミライシード「オクリンク」
- ・Google ジャムボード

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○めあての確認 「自分の気持ちを大切にアートを楽しもう」</li> <li>○配られたアートカードを鑑賞する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミライシードの「オクリンク」を活用し、児童にアートカードを配付する。個人で拡大をすることができるので細部まで鑑賞することができる。</li> </ul>
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アートカードの共通部分を見つけ、ペアリングする。 ・素材 ・感情 ・雰囲気</li> <li>○グループでペアリングしたカードとその理由を交流する。</li> <li>○ジャムボードを使い、カード进行分类する。 ・「!」や「シャララ」、「おもしろい」といった言葉を提示し、それに合うアートカード进行分类する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オクリンクはカードを自由に移動してつなげることができるので、ペアリングを簡単に行うことができる。</li> <li>・ジャムボードはグループで共有することができるので、自由に操作が可能になり、より円滑にカードの移動をしながら交流を進めることができる。</li> </ul>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習のふりかえりをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他のグループがどのように分けたのかをジャムボードのスライドを変えるだけですぐに見ることができ、自分たちの分け方と比較してふりかえりができる。</li> </ul>

## 1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：アートカードを鑑賞して、ペアリングしている場面



写真2：友だちにペアリングした共通点を説明している場面



写真3：言葉のカードに合わせてアートカード进行分类している場面

## 児童生徒の反応や変容

- ・拡大して詳細に見ることができるので、通常のアートカードを見る時よりもじっくりと見ている児童が多かった。
- ・個人にアートカードを送って活動できるので、ペアリングの交流の際に同じ分け方をしていても分けた理由が違うことがあり、人によって感じ方が違うと気付くことができた児童がいた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・オクリンクで画像を送ることによって、より詳細の部分まで拡大しながらアートカードのグループ分けを行うことができた。
- ・今後、ジャムボードの活用能力が向上していけばさらに自分たちで観点を作ったり、分類をしたりして、活動の幅が広がると感じた。